

NYマーケットレポート（2014年2月24日）

昨夜の NY 外国為替市場は、主要な米国の経済指標の発表がなく取引材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開となりました。ただ、米景気が堅調に回復するとの期待感を材料に、主要株価が堅調な動きとなったことを受けて、投資家のリスク選好の動きが強まり、円が主要通貨に対して軟調な動きとなりました。しかし、午後に入ると株価の上昇も一服し、終盤には上げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円も上値の重い動きが続きました。ユーロは、金融当局者が必要なら ECB はマイナス預金金利を検討する用意があると表明したことや、消費者物価の見通し悪化を受けて、ECB が来週に追加緩和に動くとの観測を背景に、欧州タイムから主要通貨に対して軟調な動きが続いており、NY 市場でも上値の重い展開が続きました。

2014/2/24 (月)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.28	102.69	102.17
EUR/JPY	140.50	141.04	140.34
GBP/JPY	170.09	170.75	170.01
AUD/JPY	91.83	92.16	91.57
EUR/USD	1.3738	1.3750	1.3728

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.51	102.28
EUR/JPY	141.01	140.50
GBP/JPY	170.79	169.87
AUD/JPY	92.18	91.83
EUR/USD	1.3772	1.3720

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14837.68	-27.99
ハンセン指数	22388.56	-179.68
上海総合	2076.69	-37.01
韓国総合指数	1949.05	-8.78
豪ASX200	5440.22	+1.52
インドSENSEX指数	20811.44	+110.69
シンガポールST指数	3105.84	+5.91

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6865.86	+27.80
仏CAC40	4419.13	+38.07
独DAX	9708.94	+51.99
ST欧州600	338.19	+2.10
西IBEX35指数	10193.10	+122.10
伊FTSE MIB指数	20477.50	+85.60
南ア 全株指数	47394.00	-58.24

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.45	102.61	102.41
EUR/JPY	140.68	140.90	140.51
GBP/JPY	170.64	170.87	170.01
AUD/JPY	92.51	92.74	92.06
NZD/JPY	85.30	85.51	84.93
EUR/USD	1.3733	1.3748	1.3708
AUD/USD	0.9030	0.9049	0.8985

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16207.14	+103.84
S&P500	1847.71	+11.46
NASDAQ	4292.97	+29.56
その他主要株	終値	前日比
🇨🇦 トロント総合	14227.08	+21.36
🇧🇷 ボルサ指数	39792.71	+68.13
🇲🇽 ボベスパ指数	47393.50	+13.26

2/25 経済指標スケジュール

08:50	【日】1月企業向けサービス価格指数
11:00	【NZ】1Q RBNZインフレ期待[2年間]
14:00	【日】2月中小企業景況判断
16:00	【独】4Q GDP(前年比)
16:00	【南ア】12月景気先行指数
16:45	【仏】2月企業景況感指数
16:45	【仏】2月生産アウトロック指数
17:30	【香港】1月貿易収支
18:00	【南ア】4Q GDP(前期比年率)
18:30	【英】1月BBA住宅ローン承認件数
23:00	【米】S&P/ケース・シラー[総合20]
23:00	【米】12月住宅価格指数
23:00	【メキシコ】12月小売売上高
00:00	【米】2月消費者信頼感指数
00:00	【米】2月リッチモンド連銀製造業指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1338.00	+14.40
NY 原油	102.80	+0.62
CME コーン	451.50	-1.50
CBOT 大豆	1386.50	+15.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.32%	0.32%
3年債	0.71%	0.70%
5年債	1.55%	1.53%
7年債	2.19%	2.17%
10年債	2.75%	2.73%
30年債	3.71%	3.69%

2/25 主要会場・講演・その他予定

・米2年債入札

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

欧州市場

21 : 30

《 経済指標の結果 》

2月トルコ設備稼働率 73.3% (前回 73.9%)

2月トルコ信頼感指数 104.6 (前回 101.4)



(出所:ブルームバーグ)

22:00

ドル/円 102.46 ユーロ/円 140.63 ユーロ/ドル 1.3727

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6823.95	-14.11	ダウ INDEX FUTURE	16119	+26
仏 CAC40	4395.06	+14.00	S&P500 FUTURE	1838.90	+4.60
独 DAX	9660.97	+4.02	NASDAQ FUTURE	3673.50	+9.00

(出所:SBILM)

22:30

《 経済指標の結果 》

1月シカゴ連銀全米活動指数 -0.39 (予想 -0.20・前回 -0.03) 前回発表の0.16から-0.03に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《シカゴ連備全米活動指数》

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
活動指数	-0.39	-0.03	0.60	-0.07	0.18	0.13	-0.36					
3ヵ月平均	0.06	0.16	0.24	0.04	-0.03	-0.15	-0.20					

23 : 00

《 経済指標の結果 》

メキシコ失業率 5.05% (予想 4.85%・前回 4.25%)

メキシコ消費者物価指数 (隔週) 0.12% (予想 0.18%・前回 0.12%)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16145.43	+42.13
ナスダック	4276.72	+13.31

(出所: SBILM)

0 : 30

《 経済指標の結果 》

2月ダラス連銀製造業活動指数 0.3 (予想 3.0・前回 3.8)



(出所:ブルームバーグ)

0 : 35

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米国の主要な経済指標の発表が無いものの、米景気が堅調に回復するとの期待感を材料に、主要株価は堅調な動きとなった。エネルギーや医療関連株を中心に買われた。また、ウクライナ情勢が落ち着いてきたことで投資家に安心感も広がった。

《海外の話題》

ウクライナのコロボフ財務相代理は声明で、「ここ 2 日間でわれわれは EU や米国の大使、その他の諸国や金融機関とウクライナへの緊急金融支援について協議してきた」と言明。国際援助会議には、EU、米国と国際通貨基金の代表が出席するべきとの立場を示した。欧州委員会のレーン副委員長（経済・通貨問題担当）は、ウクライナへの十分な金融支援を約束しており、ウクライナは期待を高めている。

一方、ロシアは 12 月にウクライナと合意した 150 億ドルの緊急援助の残る 120 億ドルをめぐり、予定していた 20 億ドルのウクライナ債購入を新政権発足まで延期すると表明している。

ウクライナは年末までに約 65 億ドルの対外債務を返済する必要がある。約 65 億ドルに上る経常赤字も穴埋めが必要だ。外貨準備は 175 億ドルで、引き続き対外債務の返済に使われるとみられる。ユーロ債は 10 億ドル相当を 6 月初旬に償還する必要がある。同時に、国営エネルギー会社ナフトガスが発行した 9 月償還の 16 億ドル相当のユーロ債に政府保証を付与している。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6865.86	+27.80
仏 CAC40	4419.13	+38.07
独 DAX	9708.94	+51.99
ストック欧州 600 指数	338.19	+2.10
ユーロファースト 300 指数	1349.46	+6.34
スペイン IBEX35 指数	10193.10	+122.10
イタリア FTSE MIB 指数	20477.50	+85.60
南ア アフリカ全株指数	47394.00	-58.24

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、中国景気の先行きに対する警戒感から売りがやや先行した。その後は、ドイツの景況指標の改善や米国株高を好感して買いが優勢となり、主要株価は続伸となった。



(出所:ブルームバーグ)

2 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16292.52 (+189.22)、S&P500 1857.11 (+20.86) ナスダック 4308.96 (+45.55)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、主要な米経済指標の発表がなく手掛かり材料に乏しい中、週内に発表される1月の米新築住宅販売や昨年10-12月期GDPなどの内容を見極めたいとの思惑から積極的な取引が手控えられ、もみ合いの展開となった。

午前の利回りは、30年債が3.70%（前週末3.70%）、10年債が2.74%（2.73%）、7年債が2.18%（2.17%）、5年債が1.55%（1.53%）、3年債が0.71%（0.70%）、2年債が0.32%（0.32%）。

《 欧州のポイント 》

①EU統計局が発表した1月のユーロ圏消費者物価指数（改定値）は、前年同月比+0.8%となり、速報値（+0.7%）から上方修正された。ただ、インフレ率は4ヵ月連続で1%未満にとどまっており、ECBが目安とする2%弱の半分に満たない状況であり、鈍化するインフレへの対応行動を迫られる緊急性がやや薄れた。

②ドラギECB総裁は、ユーロ圏の物価見通しが悪化するようであれば行動する用意があると重ねて表明した。総裁は、20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議の終了後、「同じ物を将来安く買えると見込んで人々が支出を先送りしている兆候はない。つまり、デフレと定義される状況は見られない」とした上で、「当局はリスクを認識している。政策委員会はいこうしたリスクが強まる場合には行動を取る意志と用意がある」と言明した。

③ECB 理事会メンバーのビスコ・イタリア中銀総裁は、必要ならマイナス預金金利を検討する用意があると表明した。シドニーでの 20 カ国・地域 (G20) 会合に出席した同総裁は、3 月の理事会時に措置を講じるかどうかは「はっきりしない」と指摘。「必要なら預金金利がマイナスとすることを検討する用意がある。デンマークの例からみて悪いとは思わない」と述べた。

4 : 30

NY 金は、中心限月が前週末比 14.40 ドル高の 1 オンス=1338.00 ドルで取引を終了した。

5 : 20

NY 原油は、中心限月が前週末比 0.62 ドル高の 1 バレル=102.80 ドルで取引を終了した。

5 : 45

米中西部では今週の気温セ氏で-17.8 度以下まで冷え込むと予想されており、ニューヨークでも-12 度台に低下する見込み。新たな北極気団がカナダから南下しているため。北東部は大型の冬の嵐の通過は免れる見通し。

米気象庁はモンタナからミネソタ、アイオワ州にかけて冷たい空気と強い風の影響で体感温度が-35 度程度まで低下する恐れがあると警戒を呼び掛けている。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1338.00	+14.40
NY 原油	102.80	+0.62

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

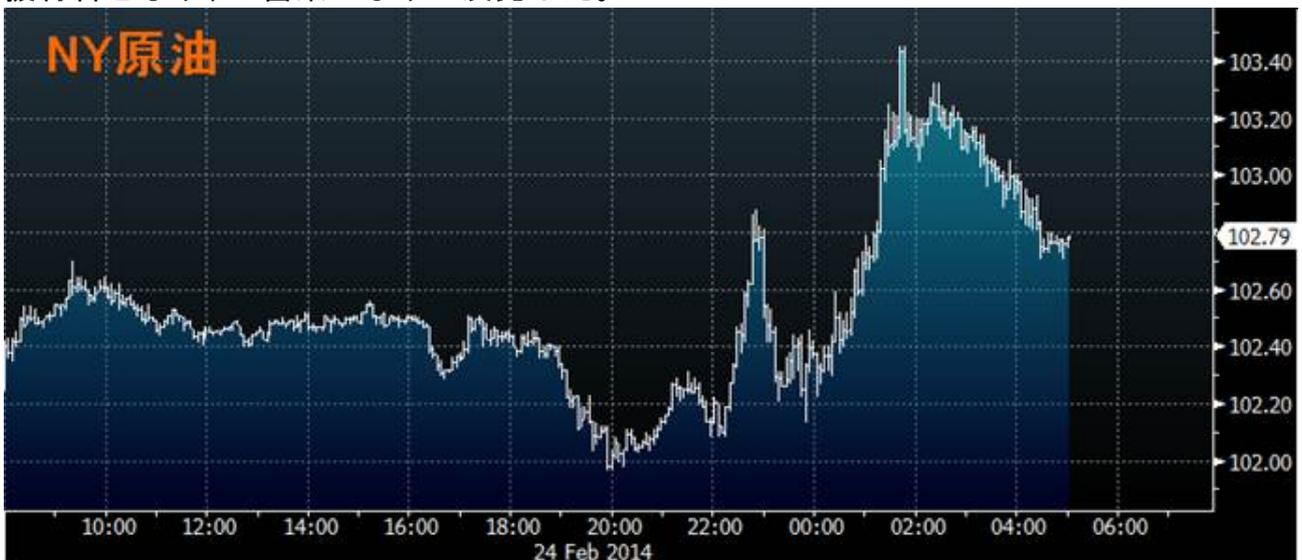
NY金は、このところ米経済指標が軟調で米景気の回復に懐疑的な見方が広がっていることに加え、ウクライナ情勢への不安も根強く、比較的安全な資産とされる金へ資金を避難させる動きが加速した。終値ベースでは、昨年10月下旬以来、約4ヵ月ぶりの高値水準となった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米国株の上昇を受けて投資家のリスク志向が改善し、買いが先行した。また、WTI原油の引き渡し地点の在庫が一段と減少し原油価格を押し上げるとの見方も支援材料となり、3営業日ぶりに反発した。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16207.14	+103.84	16300.04	16102.27
S&P500 種	1847.71	+11.46	1858.71	1836.78
ナスダック	4292.97	+29.56	4311.13	4272.11

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米国の主要な経済指標の発表が無いものの、米景気が堅調に回復するとの期待感を材料に、主要株価は堅調な動きとなった。また、ウクライナ情勢が落ち着いてきたことで投資家に安心感が広がったことも材料視された。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前週末比 196 ドル高まで上昇する場面もあったが、午後に入ると堅調な流れも一服して、終盤まで小動きの展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.45	102.61	102.41
EUR/JPY	140.68	140.90	140.51
GBP/JPY	170.64	170.87	170.01
AUD/JPY	92.51	92.74	92.06
NZD/JPY	85.30	85.51	84.93
EUR/USD	1.3733	1.3748	1.3708
AUD/USD	0.9030	0.9049	0.8985

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の宿様な経済指標の発表が無く、米景気が回復するとの期待感を背景に、主要株価が堅調な動きとなったことを受けて、円を売る動きが強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、終盤にはやや上げ幅を縮小する動きとなったことから、やや軟調な動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。